

特 記 仕 様 書

業務番号 第 201 号

業 務 名 後志管内 治山パトロール事業委託業務

北 海 道 後 志 総 合 振 興 局

治山パトロール事業仕様書

第1 適用

1. この仕様書は、北海道水産林務部（以下「道」という。）が調査した山地災害危険地区及びなだれ危険箇所（以下「山地災害危険地区等」という。）における治山施設の機能調査及び現地の状況調査を行う業務（以下「治山パトロール」という。）を委託者の委託により、受託者が行う治山パトロールの一般仕様を定めるものである。
2. この治山パトロール事業仕様書は、道が実施する治山パトロールに適用するものとする。
3. この仕様書に定めのない事項は、北海道森林土木工事測量調査設計業務等共通仕様書を準用するとともに、委託者の指示によるものとする。
4. 設計図書に記載された事項は、この仕様書に優先するものとする。

第2 業務の内容等

受託者は、委託者が示した時期及び山地災害危険地区等において、次の項目の治山パトロールを実施し、その結果を「治山パトロール調査表」（別記報告様式1）及び「治山パトロール調査状況写真」（別記報告様式2）並びに「治山パトロール調査結果一覧表」（別記報告様式3）に記載するものとする。

なお、治山パトロール実施箇所内に治山施設がある場合は、治山施設の状況を「治山施設経過点検業務仕様書」に定める治山施設経過点検結果整理表に記載するものとする。

- 1) 崩壊山腹調査
- 2) 治山施設機能調査
- 3) 荒廃溪流調査
- 4) その他特記すべき事項等

第3 パトロールの実施期間

パトロールの実施期間については、委託者と受託者で協議して決定するものとする。

第4 設計変更

異常気象等により新たに治山パトロールが必要になった山地災害危険地区等、治山事業の計画提案について委託者と受託者で協議の結果、箇所数に変更があった場合は設計変更を行うものとする。

第5 業務の報告

受託者は、第2に基づく治山パトロール結果及び対象地の調査・報告をするものとする。ただし、治山パトロールの結果で特に重要な事項がある場合については、受託者は委託者に速かに連絡し、委託者と現地において打合せを行うものとする。なお、報告期日については委託者と受託者で協議して決定することとする。

治山事業の計画提案：春期のパトロール実施後、速やかに報告する。

第6 成果品

受託者は、治山パトロール結果に基づき次の各号に掲げる資料を作成し、委託者の指定する期日までに各1部を提出するものとする。また記録媒体（CD・DVD等）を1部

提出するものとする。

- 1) 治山パトロール調査位置図・・・国土地理院地図等（1/50,000）を用いて、
点検箇所を示したもの
- 2) 治山パトロール調査表・・・・・・・・別記報告様式1
- 3) 治山パトロール調査状況写真・・・別記報告様式2
- 4) 治山パトロール調査結果一覧表・・・別記報告様式3
- 5) 治山施設経過点検結果整理表・・・別記報告様式5
- 6) 点検施設写真・・・・点検状況がわかる代表写真を紙印刷するとともに、点検
した各施設写真を電子データで納品する
- 7) GPSデータ・・・・・・・・ポイントデータ及びトラックデータを世界測地系（WGS
84）で電子データとして納品する

治山パトロール事業特記仕様書

第1 保安林状況調査

治山パトロール地区周辺の保安林における違法伐採や開発行為が見られた場合には、当該保安林について、別紙1「保安林状況調査表」の各項目を目視等により調査し、発注者へ報告すること。

保安林状況調査表

調査年月日			部局名	
所在地				
違法伐採地の有無		概況		
違法開発行為地の有無		(有の場合)		
状況写真				

成 果 品 目 録

No	名 称	単位	縮 尺	規格寸法	提出部数		適 用
					紙	電子媒体	
1	治山パトロール調査位置図	式	5万分の1	A3・A4	1式	1部	国土地理院図等 (1/50,000)を用いて点検 箇所を示したもの
2	治山パトロール調査表	式		A4	〃	〃	別記報告様式1-1, 1-2
3	治山パトロール調査状況写真	式		A4	〃	〃	別記報告様式2
4	治山パトロール調査結果一覧表	式		A4	〃	〃	別記報告様式3
5	治山施設経過点検結果整理表	式		A4	〃	〃	別記報告様式5
6	点検施設写真	式		A4	〃	〃	
7	GPSデータ	式		A3・A4	〃	〃	

※ 紙とは、白焼き、プロッター／プリンター出力したものを指す。

※ 紙で提出する書類について

- ・ GPSデータ ポイント及びトラックラインを表示させた地図および、座標一覧表

※ 電子データとは、各成果品について次に基づき、CD-Rなどにより提出すること。なお、電子データでの作成・提出が不可の場合は、業務担当者と別途協議すること。

※ 電子媒体で提出するデータについて

- ・ 各報告様式 PDF並びにExcel等のデータ
- ・ 写真 500万画素以上のデジタルカメラで撮影したPDF並びにJPEG等のデータ
- ・ GPSデータ 世界測地系(WGS84)のポイントデータ及びトラックデータ

※ 保安林状況調査表については、治山パトロール地区周辺の保安林において違法伐採や開発行為が見られた場合に提出するものとし、そのような行為が発見されなかった場合は成果品から除外する。

※ 治山パトロール調査位置図及びGPSデータの成果品の規格寸法については、調査対象となる危険地区の規模により適正な規格に合わせて提出すること。

別記報告様式1-1				治山パトロール調査票		危険地番号		
パトロール箇所		地区名		保安林()				
パトロール月日		調査者(職・氏名)						
保全対象	種類	人家	戸	道路	公共施設			
	距離	山腹…		溪流…				
調査事項		調査項目						
崩壊山腹調査	崩壊地調査	崩壊地の有無		湧水の有無				
		崩壊斜面勾配		崩壊地の土質				
		亀裂の有無		地質				
		治山施設有無		工種及び施工年度		工	年施工	
		崩壊地の規模		土層深				
	岩盤等調査	亀裂の有無		岩盤の規模		mX	m	
		岩盤の状況		風化の状況				
		オーバーハングの有無						
		浮石		浮石の大きさ		cm径	個/25m2	
		治山施設有無		工種及び施工年度		工	年施工	
	植生等調査	岩盤の傾斜		～ 度	工種及び施工年度		工	年施工
		崩壊の危険性				工	年施工	
		植生の有無		草本類の侵入				
		木本類の侵入		樹種	樹高			
植栽木の状況								
治山施設調査		施設の有無		工種及び施工年度				
		亀裂の有無						
		施設の傾き						
		施設の破損						
		鋼材の腐食		その他施設の機能低下				
		施設の洗堀						
荒廃溪流調査		土石流痕跡		(特記事項)				
		流木による堆積						
		土砂異常堆積		転石混入率				
今後の危険性等に関するメモ		山腹崩壊の有無		落石の有無		土石流発生の有無		
		森林整備の必要性		施設修繕の必要性				
その他特記すべき事項		位置情報 測定方法 緯度 度 分 秒 経度 度 分 秒 ※測定箇所を様式1-2に図示する。						

別記報告様式 1 - 2

パトロール箇所		地区名	
パトロール月日	崩壊地調査 岩盤等調査 植生等調査 治山施設調査 荒廃溪流調査		
調査結果詳細	スケッチ・状況説明		
特記事項			

別記報告様式 2

治山パトロール調査状況写真

パトロール箇所		地区名	
パトロール項目	崩壊地調査 岩盤等調査 植生等調査 治山施設調査 荒廃溪流調査		
写真貼付			
記載メモ (撮影年月日 平成 年 月 日撮影 撮影者)			
写真貼付			
記載メモ (撮影年月日 平成 年 月 日撮影 撮影者)			

別記報告様式3

治山パトロール調査結果一覧表

パトロール 実施月日	危険地区名	危険地区 番号	崩壊地 の状況	露出風化 岩盤等	浮石	植生等 の状況	施設の 状況	土層深	転石 混入率	将来計画 の必要性	市町村名		将来計画の概要		特記事項		
																	工種

※土層深は、山腹崩壊危険地区の場合に記入する。
 ※転石混入率は、崩壊土砂流出危険地区の場合に記入する。

※太枠内はパトロール調査結果等に基づき、発注者が記入する。

